

海外新話卷之五

提督陳化成軍配付討死事

霜風知勁草板蕩識貞臣とちや天下秉平無事の時  
當て其弊ふ繁一庸夫位を得大人權を極り忠臣義士  
ハ却て草莽の間よ蟄伏し其才力底尽もと能筆爰々提  
督陳化成ハ道光十九年英夷の變乱起るよ依て新よ卒伍  
の中よリ撰ひ舉らる福建の水師督又余サレ屢軍功有  
翌二年江南の守よ補任せらる茲よ因て日夜軍務よ力  
犠竭一士卒と共に甘苦絆同くし支那處方の紀律有  
同年四月定海城陥ると聞き急ぎ吳淞口より新よ八千

斤の大筒六十挺鐵鎗立て是成多内と東西の甚盛場所  
東へ以て敵の上陸防護き西へ以て敵の大船破擊碎の用意  
城あり其餘城壘を築き刀槍を磨き冬糧を畜へ軍民が  
按撫せり士卒等其徳を仰げざるべし英夷も又化成の  
勇名威聞く不怕江南百万兵唯恐一人陳化成と云ふ  
り同二十二年の春逆夷の侵乍浦を始り近海の諸城を攻  
取り其勢ひ破竹の如くあるふよう化成は逆夷の不日小攻  
寄つてを察り士卒又下知して益防禦を嚴小せても果て  
五月七日敵船來り侵もと甚急う此時味方寡勢にて  
援兵もゆくも支の遂に就難なく計り化成歸ち士卒も

大發を擧て輸一々の此度の合戦は於て我力孤極め死  
致して圓の鴻恩よ報んとモ汝幸小我を助け忠節  
を全せよ士卒等これを聞て大よ感激一人とて涙地  
激げば無一且人毎よ一丸の意成喫て同戰ひよ勝の時  
各これ成程食ま其膳飮を強はよまべと士卒等あま成  
得て喜ふぞ陽り翌八日子の刺計り小大小の軍舟一時  
小押寄き陳化成士卒よ先よち西うる臺場よ馳登り  
新よ鑄きを置く大筒小強業込大船よ向ひと寄放つ  
此時敵方よも同く打懸され其玉化成の備す塘の前  
碑落て味方の兵卒微く畏き氣色あるふよう化成

就て下知一けりハ敵船の狭間ニ向網起テ虚襲あり必至  
駿馬くと莫ニ黒網起ハ実襲あり各全身地ニ俯ニ越王ニ  
せよと士卒等心得よりとて形の如くテカラ不依て死傷す  
須臾より化成別ニ一計を設ケ敵船を誘き進めん爲態  
と臺場を下りて墨の蔭ニ伏モ敵の機を得て大船陸續と  
ちて攻來る化成此時を失ひテモと再び士卒猛率入臺場  
小登り數十挺の大筒一度ニ奇懸大小の船十余艘を打碎  
黑白の夷二千余人を焼殺モ時ニ東の臺場より連錦と発砲  
一敵の上陸を禦きされども今ハ士卒等走船の檣の上  
より筒先下リ少打懸る石火矢ニ擊倒され殲り少々ある

されば化成となりて一隊の兵士を遣て防があらん  
とせ一而敵千余人既に上陸一西の臺場に向て押寄る  
其時誰もや士卒一人化成の危急を援んと一匹の馬が  
引く化成の傍よりこれよ騎て暫く此地を逃れ至りと告  
るみ化成告て曰我の死を以て國恩は報んとモ何の面同  
あくまでも人よりの背を風せ此處を引退くべしと言ひそ  
ざるみ一箇の天地鳴渡りく化成の傍より落なるがその火  
氣激發して化成の全身を糜爛せし者れども化成檜塘の  
上より魏然として動を殲れし士卒より下知にて曰今  
人も多く敵を殺す快く討死すべと斯る時東の岸